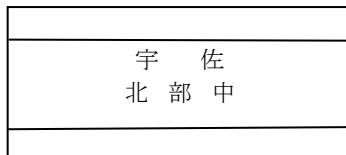


相撲

- 1 期 日 7月28日(木)
- 開錠・8:30 監督会議・9:30 開始式・10:00 競技開始・10:20
- 2 会 場 宇佐市総合運動場 相撲場
- 3 参加制限
- (1) 団体戦 :学校単位で編成された郡市代表チームとする。但し、同一校1チームのみとする。
各郡市の代表は、
中津市3 豊後高田市2 宇佐市3 別府市2
大分市8 佐伯市4 日田市3
その他の郡市が新しく参加する場合は1チームとする。
:監督1名、コーチ1名、選手3名、交代選手2名、合計7名以内とする。
:団体戦出場チームの選手が2名の場合は先鋒と大将とする。
 - (2) 個人戦 :団体戦に出場する選手全員と各郡市個人代表5名以内とする。
 - (3) 学校単位で編成されたチーム以外の選手は、オープン競技として郡市対抗団体戦を行なう。
(個人戦のみに出場した選手による編成)
 - (4) 監督は出場校の校長・教職員・部活動指導員とし、教職員・部活動指導員以外のコーチは校長の認めた者とする。
- 4 競技規則
- (1) 日本相撲連盟競技会規程・日本相撲連盟審判規程及び審判規程補則を適用する。
 - ①土俵上での礼は立札とし、立ち合いは必ず両手について立つこと。
 - ②「立ち合い」は選手双方が両手をつき静止した後、主審の「ハッケヨイ」の掛け声により行う。
また、両手をつく位置は、仕切線の後ろとする。
 - ③「禁じ技」及び「危険な組手」に留意すること。
 - ・「禁じ技」とは、反り技、かわづ掛け、さば折り、極め出し、極め倒しをいう。
 - ・「危険な組手」とは、脇に入った相手の首を極めること、後頭部を相手の腹部につけること、「鳴の入首」をいう。
- 5 競技方法
- (1) 団体戦:予選リーグ、決勝トーナメント方式で行う。ただし、オープン競技として個人戦のみの出場者による団体戦(郡市対抗戦)を行なう。(参加状況により中止することもありうる。)
 - ・予選リーグにおいて勝数・得点が同じ場合は、同点決勝を行う。
 - (2) 男子個人戦:出場全選手によるトーナメント方式で行う。
女子個人戦:出場全選手によるトーナメント方式、もしくはリーグ戦を行う。
- 6 備 考
- (1) 各選手は学校名入りゼッケンを必ずつけること。(下図参照)
 - (2) 申し込み後のオーダー変更は認めない。
 - (3) 指導事項として、男子選手は、まわしの下にアンダーパンツを使用するときは、黒もしくは紺のみとする。
 - (4) 審判は、相撲連盟審判員・各都市中学校教師(引率教師を含む)が行う。
 - (5) 九州大会出場資格は、団体優勝・準優勝校・開催地及び個人1~3位(4名)の者に与える。ただし、団体戦の選手においては、県体に出場した者とする。尚、ケガ・病気等で欠員の場合は検討する。
 - (6) 全国大会出場資格は、団体優勝校及び個人1~3位の者に与える。
 - (7) 全国大会出場選手決定のための個人3位の者による出場決定戦を行う。
 - (8) 大会参加にあたっては、郡市代表選手としてふさわしい服装、身なり、行動を心がける。状況(染髪・眉剃り・装身具等)に応じては大会参加を認めない。
 - (9) マナーチェックについては、大会当日の受付時に選手全員参加し、監督とともにチェックを受ける。
 - (10) 本年度も、女子の部・個人戦をオープン参加として実施する。女子選手の服装については、レオタードを着用し、その上にまわしを着用する。
 - (11) 当日オーダー変更・棄権について。*監督会議終了後の1回戦オーダー変更は原則認めない。
 - ①受付時に本部で変更用紙をもらう→ ②監督会議前に競技委員に提出→ ③監督会議で確認

ゼッケン例:縦 25cm 横 25cm 程度のものを作つて、上下を廻しに織り込む。



← ここを織り込む

← ここを織り込む

- (12) 「令和4年度大分県中学校体育連盟主催大会実施上のCOVID-19感染拡大予防ガイドライン」及び各競技で示された留意事項を遵守し大会に参加すること。